

---

# NEWSLETTER

## 比較経済体制学会

No.38 April 2011

---

### Contents

- 2011 年度比較経済体制学会第 51 回全国大会について
  - 2011 年度比較経済体制学会第 10 回秋期大会のお知らせ
  - 編集委員会からのお知らせ
  - 学会ニュース
  - 事務局だより
- 

### 2011 年度比較経済体制学会第 51 回全国大会について

比較経済体制学会会員各位

2011 年 3 月 28 日

3 月 17 日に学会メーリングリストにてご連絡差し上げました通り、比較経済体制学会は、今年の 6 月 4 日、5 日に開催致します第 51 回全国大会につきまして、幹事会で、東北大学での開催の可能性の当否、不可能である場合の代替開催校の選定可能性などを検討して参りました。

鉄道インフラ・原子力発電所の状況等勘案致しまして、この度の東北大学での開催は断念致しました。復興が果たされた暁には、出来るだけ早い機会に東北大学での開催をお願いすることにしたいと存じます。

検討の結果、関東地域における輪番停電の長期化・実務的な実現可能性・これまでの経験の蓄積をおもちである事等から、つい数年前にも秋季大会をご担当いただいた神戸大学に、代替開催をお願いすることと致しました。

幹事会等にて、神戸大学のほか、富山大学・山口大学・日本大学・一橋大学での代替開催をご提案頂きました。積極的なご提案を頂きました会員諸兄には深く御礼申し上げます。組織委

員長の日置幹事には、非常にご多忙と拝察される中、随時情報をご提供頂きましたこと深く御礼申し上げます。一日も早い東北の復興を、一同祈念しております。

神戸大学で開催頂くことをご提案頂きご協力頂けますこと、吉井会員（幹事）・加藤会員（幹事）に深謝致します。

以上ご報告申し上げます。

比較経済体制学会代表幹事

栖原学

この度の震災にて被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

今次大会は既報の通り、東北大学での開催を断念し、神戸大学にて開催頂くこととなりました。プログラムは東北大学大会組織委員会（日置委員長）より皆様のお手元に直接お届け頂きます。大変な状況にあることと拝察される中、ご尽力頂いております組織委員会諸兄に御礼申し上げます。

（事務局）

## 2011 年度比較経済体制学会 第 10 回秋期大会のお知らせ

2011 年秋期大会は、既報のとおり一橋大学で開催することになりました。10 月 8 日（土曜）を予定しております。今回は欧州比較経済学会 European Association for Comparative Economic Studies, EACES アジア・ワークショップとの共催で、複数のゲストにご報告頂きます。ご報告希望は追って受け付けることとなりますが、どうぞご予定をお願いします。（事務局）

アップとの共催で、複数のゲストにご報告頂きます。ご報告希望は追って受け付けることとなりますが、どうぞご予定をお願いします。（事務局）

### 編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー制投稿誌として、年 2 回発行しています。今年 6 月に刊行予定である 48 巻 2 号の企画内容は、次の通りに決定しました。

#### 特別寄稿論文

ジョゼフ・C・ブラダ「比較経済学の「新」と「旧」：比較経済研究のこれからを問う 5 つの命題」

#### 論文

菅沼桂子「サハリン州への外国直接投資：地域経済効果に関する一考察」

#### 研究ノート

服部倫卓「ロシアの経済特区の特質」

#### 書評

上原一慶著『民衆にとっての社会主義：失業問題からみた中国の過去、現在、そして行方』（林裕明評）

石川晃弘著『体制転換の社会学的研究：中欧の企業と労働』（松本かおり評）

天津定美・韓福相・横田高明編著『北東アジアにおける経済連携の進展』（安木新一郎評）

松井康浩編『20 世紀ロシア史と日露関係の展望：議論と研究の最前線』（志田仁完評）

岩崎一郎・鈴木拓著『比較経済分析：市場経済化と国家の役割』（溝端佐登史評）

アブナー・グライブ著『比較歴史制度分析』（日臺健雄評）

投稿原稿（論文（400 字×55 枚以内）、研究ノート（400 字×45 枚以内）、書評（400 字×17 枚以内））を募集中です。原稿は随時受け付けていますが、次号 49 巻 1 号（2012 年 1 月刊行予定）の投稿〆切は、2011 年 8 月末です。同号に掲載ご希望の会員は、渡邊真理子編集委員（mariko.wt@gmail.com）に、原稿をご提出下さい。なお、企画の都合上、掲載号が次々号となる場合がございます。続く 49 巻 2 号（2012 年 6 月刊行予定）の投稿〆切は、2011 年 12 月末です。こちらは鈴木拓編集委員（pc01816@main.teikyo-u.ac.jp）が担当します。

なお、当学会に連続 2 年度以上在籍している若手研究者（院生会員及び年齢 40 歳以下の正会員）が単独執筆した機関紙掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、とくに奮ってご投稿ください。

（学会機関誌編集委員会）

### 学会ニュース

#### \* 第 5 回比較経済体制学会研究奨励賞の募集が締め切られました。

第 5 回比較経済体制学会研究奨励賞の応募は、3 月末日をもって締め切りました。1 名の会員からの応募がありました。また、機関誌掲載論文のうち条件を満たすものは自動的に選考対象

となります。9 月末までが審査期間となっています。審査結果は、秋期大会で発表する予定です。

（事務局）

---

## 事務局だより

ニューズレターNO.38をお届けします。

この度の震災にて被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

今次大会は東北大学での開催を断念し、神戸大学にて開催頂くこととなりました。プログラムは東北大学大会組織委員会（日置委員長）より皆様のお手元に直接お届け頂きます。大変な状況にあることと拝察される中、ご尽力頂いております組織委員会諸兄に御礼申し上げます。

3月末日で第5回比較経済体制学会研究奨励賞の応募を締切ました。応募いただいた方々に御礼申し上げます。ただ、新たな規定の下で応募者1名のみ、そして機関誌掲載論文も数が限られているというのは少しさみしいように感じます。広報も含め事務局としても応募数の増加に努めたいと考えていますが、まずは機関誌への気鋭の投稿を呼びかけたいと考えます。また会員のみなさまの積極的なご推薦などにより、この研究奨励賞を盛り上げていただきたいと思います。

学会の発展には、会員の拡大が不可欠です。事務局といたしましても、会員の拡大のため、

みなさまにご協力を呼びかけたいと思います。

2011年度全国大会に向けて、新規入会をご希望される方が周囲にいらっしゃいましたら、積極的にお声をかけていただきますようお願い申し上げます。入会手続きや入会申込書等は、本学会ホームページに詳しくあります。

また、この時期、異動や転居をされる方々もいらっしゃることでしょう。所属機関の変更や住所変更のお知らせは、変更が生じたときに速やかにお知らせいただきますようお願い申し上げます。とくに、院生会員の方で就職され正会員になられる方々は、次年度会費に関わりまでするので、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。連絡先は、学協会サポートセンター・比較経済体制学会担当（TEL:045-671-1525 FAX:045-671-1935 e-mail:scs@gakkyokai.jp）またはメンバーシップ管理担当幹事（杉浦）までお願いいたします。

2011年全国大会をもって、現役員および事務局も任期を終了します。事務局一同、これまでの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

（事務局）

---

## ニューズレターNO.38

2010年04月27日発行

比較経済体制学会事務局

〒186-864 東京都国立市中2-1 一橋大学経済研究所 雲和広  
Tel. & Fax 042-580-8361; E-mail: [kumo \(at mark\) ier.hit-u.ac.jp](mailto:kumo(at)mark)ier.hit-u.ac.jp)  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaces/index.html>

メンバーシップ管理担当幹事 帝京大学 杉浦史和

E-mail : [fsuqiura@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:fsuqiura@main.teikyo-u.ac.jp)

会計担当幹事 明治大学 加藤志津子

E-mail : [katos@kisc.meiji.ac.jp](mailto:katos@kisc.meiji.ac.jp)